

単元名 雨がとどける春

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 花が雌しべ、雄しべ、花びら、がくなどからできていることを理解することができる。
(3) アブラナの花について、進んで関わりながら問題を解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

05050101_001

【準備等】アブラナの花、虫眼鏡、ビニルテープ、カッターナイフ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 春の校庭に咲いている植物について調べる。 ★アブラナの花を観察しよう。</p> <p>○アブラナの花のつくりを調べる。 ・アブラナの花はどれも同じつくりをしている。 ・雌しべ、雄しべ、花びら、がくが、一つの花の中にある。 ・雄しべの先にある黄色い粉は、花粉。</p> <p>○アブラナの花が咲いた後、どうなっていくのかを確認する。 ・花が咲いた後には、実ができる。 ・実の中には種子があり、この種子が芽を出して、次の春に花を咲かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 66からの「花のつくり」の単元で、アブラナの花のつくりと比べる場面があるので、5年生の最初の単元として、オリエンテーションを兼ねて行う。 校庭に出て、これからの学習への意欲を高めていくようにする。 アブラナの種子蒔きを、事前にしておくとうい。 教科書P. 2の写真を見て、「めしべ」「おしべ」「花びら」「がく」「花粉」という用語の意味を確認し、理科ノート「観察と実験」に各部の名称を記入させる。 時間に余裕がある場合は、アブラナの花以外の植物についても紹介したり、調べさせたりするとよい。 教科書P. 2の写真を見せて確認させる。 <p>【評】アブラナの花のつくりを調べ、まとめる活動を通して、「知識・技能」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

<関連>

- ・第4学年「季節と生き物」
- ・中学校第1学年「生物の観察と分類」